

業務名：日本風景街道広報広聴業務  
 特定企業名：(一社)北海道開発技術センター  
 住所 札幌市北区北11条西2丁目2番17号  
 代表者 理事長 倉内 公嘉  
 決定日：令和5年4月19日

評価項目	評価の着目点			配点	企画提案書 (一社)北海道開発技術センター	
	判断基準					
業務実績	過去10年間の同種又は類似業務実績の内容・件数			企業化しない	要件を満たしている	
ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標の適合状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等(えるぼし・プラチナえるぼし認定企業、一般事業主行動計画策定企業)			①5 ②4 ③3 ④2 ⑤1	該当しない	
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん・プラチナくるみん・トライくるみん認定企業)			①5 ②3 ③3 ④3 ⑤2		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定(ユースエール認定企業)			4		
【注：複数の認定等に該当する場合には、最も配点が高い区分により加点を行う。】						
業務実施体制	業務分担及び業務実施体制の妥当性			数値化しない	該当しない	
予定管理技術者の経験及び能力	専門技術力	技術執行力	過去10年間の同種又は類似業務実績の内容	下記の順位で評価する。 ① 平成25年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成25年度以降に類似業務の実績がある。 ③ ①、②以外	①30 ②15 ③特定しない	30.0
予定担当技術者の経験及び能力	専門技術力	技術執行力	過去10年間の同種又は類似業務実績の内容	下記の順位で評価する。 ① 平成25年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成25年度以降に類似業務の実績がある。 ③ ①、②以外	①10 ②5 ③特定しない	10.0
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度			目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	15	12.0
	実施手順			業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合や業務量の把握状況を示す行程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	15	13.0
	その他			有益な代替案及び重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	10	8.0
特定テーマに対する企画提案	的確性			特定テーマ：一般市民を対象とした広報活動における実施計画の作成を行う上での留意点について述べよ。  地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。必要なキーワード(着眼点、問題点、解決方法等)が網羅されている場合に優位に評価する。	50	40.0
	実現性			提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	30	24.0
参考見積	業務コストの妥当性			提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積が不適切な場合には特定しない。	数値化しない。	適切である
合 計				165	137.0	